

# 幕別町アイヌ文化拠点空間整備事業基本計画（案）

## 1 整備方針

### (1) アイヌ文化関連施設（蝦夷文化考古館と千住生活館）の概要

#### ① 蝦夷文化考古館

幕別町の白人（チロット）出身のアイヌである故吉田菊太郎（1896～1965年）氏が、アイヌ民族の生活や社会的地位の向上とアイヌ文化の保存のため本町のみならず全道へと範囲を広げて活動し、1959年（昭和34年）に「アイヌ文化を正しい姿で後世に残す」ことを目的として建設しました。近現代のアイヌ民族の歴史を紐解くことができる貴重な資料が多数展示・收藏されている歴史的建造物で、本町におけるアイヌ文化の継承や情報発信の拠点となっています。

#### ② 千住生活館

アイヌの人々の生活文化の向上を図るとともに、社会福祉及び保健衛生の増進に寄与することを目的として、1963年（昭和38年）に建設した施設で、民族の伝承行事や民族衣装の制作等、本町におけるアイヌ文化の振興や地域住民の活動の拠点となっています。



蝦夷文化考古館



千住生活館

### (2) アイヌ文化拠点空間整備事業の必要性

本町には、幕別アイヌ協会やマクンベツアイヌ文化伝承保存会の活動により、アイヌの歴史を学ぶ場や伝統文化を体験する機会が一定程度あるものの、蝦夷文化考古館は老朽化が著しく、建物と收藏資料の保存修復、適切な環境下における資料の展示と收藏、收藏資料の調査研究とその成果の情報発信が急務となっており、さらには協会及び保存会会員の高齢化や活動拠点となっている千住生活館の老朽化によって、アイヌ文化等の担い手の育成や日常的な利用に支障をきたしています。

こうしたことから、アイヌの人々が誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現を目指し、アイヌ施策を積極的に推進する必要があります。

### (3) アイヌ文化拠点空間整備事業に関する基本的な考え方

蝦夷文化考古館を保存改修し、展示・收藏資料の修復など展示機能の充実を図るとともに、千住生活館を解体し、儀式などにおいて不可欠な炉を持った伝承室を有する多機能型交流施設（生活館棟、展示棟）及び復元されたチセを整備することで、資料の保存・研究と技術の伝承を結び付け、より多くの本町内外のアイヌの方々が誇りを持って生活し、活動できる拠点を提供するとともに、空間全体を全道のアイヌ文化をつなぐ情報発信、交流拠点として整備します。

## 2 基本理念

### 「アイヌ文化の伝承とふれあいの拠点空間」

空間整備により、先住民族であるアイヌの人々の誇りを尊重し、その文化を伝承するための活動を推進するとともに、訪れた方がアイヌ文化及び歴史に触れ、学ぶことでアイヌ民族に対する理解を深め、交流を促進することを目指します。

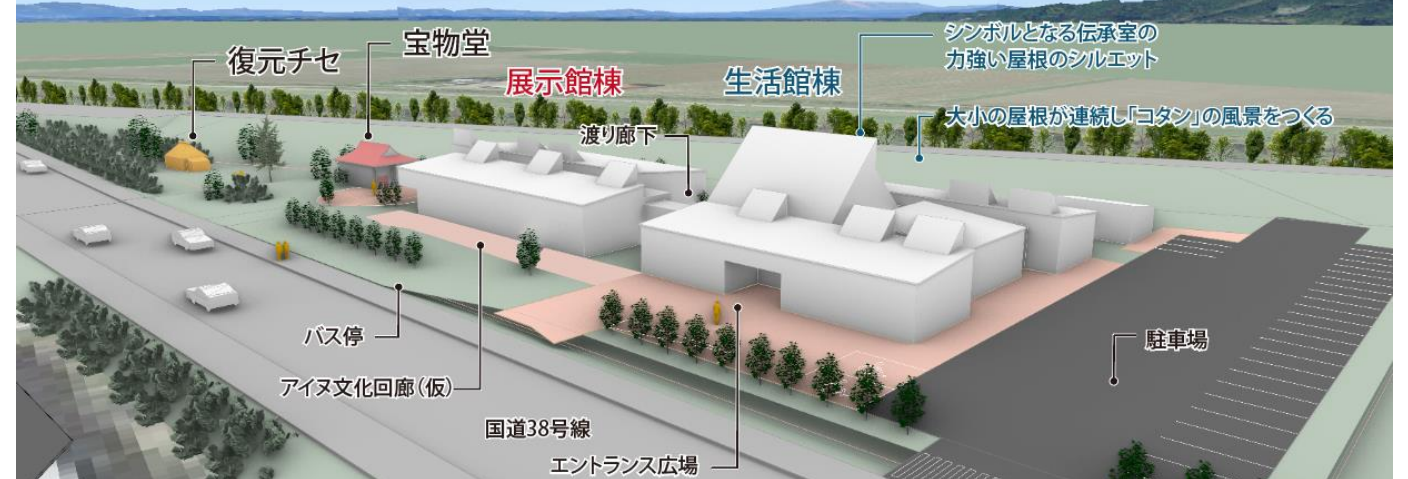
## 3 基本目標

- (1) アイヌの人々のコミュニティ活動の推進
- (2) アイヌ民族としての誇りが尊重される地域社会の実現
- (3) アイヌ民族の文化及び歴史に対する理解を深めることができる場の提供
- (4) アイヌ文化の継承
- (5) アイヌ文化とのふれあいを通じた町民との交流の促進

### ■空間全体イメージ

#### 建築デザインのコンセプト

敷地全体を「コタン（アイヌの集落）」に見立て、各施設と外部空間が一体的に繋がった機能的かつ魅力的な空間をつくります。  
生活館棟の「伝承室」を母屋（チセ）に見立てて全体の象徴とし、その周りに附属屋として屋根の低い建築を配置します。



### ■工事スケジュール

年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
生活館棟	千住生活館解体工事	新築工事・周辺整備	供用開始	
宝物堂（蝦夷文化考古館）		改修工事（一部解体）	周辺整備	
展示館棟			新築工事・周辺整備	供用開始

## 4 敷地の有効活用(利用計画)に関する方針

### (1) 多機能型交流施設配置

多機能型交流施設は、国道の見通しを確保し、安全性を確保することから敷地東側に出入り口となる駐車場、南東側にエントランスひろばを設け、敷地東側から生活館棟、展示館棟と配置します。

また、敷地西側に蝦夷文化考古館の宝物堂、復元チセと当時の植栽を再現したエリアを宝物堂ひろば、植生再現エリアとして配置します。

#### 【多機能型交流施設配置の方針】

- ① 駐車場を施設東側に配置します。
- ② 施設とその他エリアを一体的に利用できる配置とします。

### (2) 敷地の有効利用

計画敷地は不整形な土地であり、効率的な敷地利用が必要であるため、施設周辺に駐車場、エントランスひろば、アイヌの人々の文化伝承の場となる祭壇エリア、野外活動エリア、宝物堂ひろば、植生再現エリアを有効に配置します。

#### 【敷地の有効利用の方針】

- ① 生活館棟、展示館棟を敷地中央に配置します。
- ② 施設周辺に駐車場、エントランスひろば、野外活動エリア、宝物堂ひろば、復元チセを含む植生再現エリアを配置します。

### (3) 歩行者・車両動線

歩行者が安全に利用できるよう、国道からの出入り口は車両と別とします。また、敷地南側にエントランスひろばからアイヌ文化回廊を通り、宝物堂ひろば、植生再現エリアを鑑賞できる動線を確保し、敷地北側には野外活動エリアと祭壇エリアをつなぐ動線も確保します。

#### 【動線計画の方針】

- ① 敷地出入口を歩行者と車両と別に配置します。
- ② エントランスひろばから植生再現エリア、野外活動エリアと祭壇エリアをつなぐ動線を確保します。

### □配置計画の方針

#### (1) 駐車場

- ・敷地東側に駐車場を配置し、駐車場内には大型観光バス用駐車スペースを確保します。
- ・駐車場北側に途別川堤防にあるサイクリングロードからのアクセス通路を確保します。

#### (2) アイヌ文化回廊・エントランスひろば

- ・屋外にある宝物堂、復元チセへのアクセス通路として施設南側にアイヌ文化回廊を設けます。
- ・施設南東側にエントランスひろばを設け、様々なイベントなどが開催できるスペースを確保します。

#### (3) 野外活動エリア・祭壇エリア

- ・敷地北側の野外活動スペースにガレージを設置し、アイヌの人々の文化伝承活動のためのエリアを設けます。また、野外活動エリアから祭壇エリアへの動線を確保します。

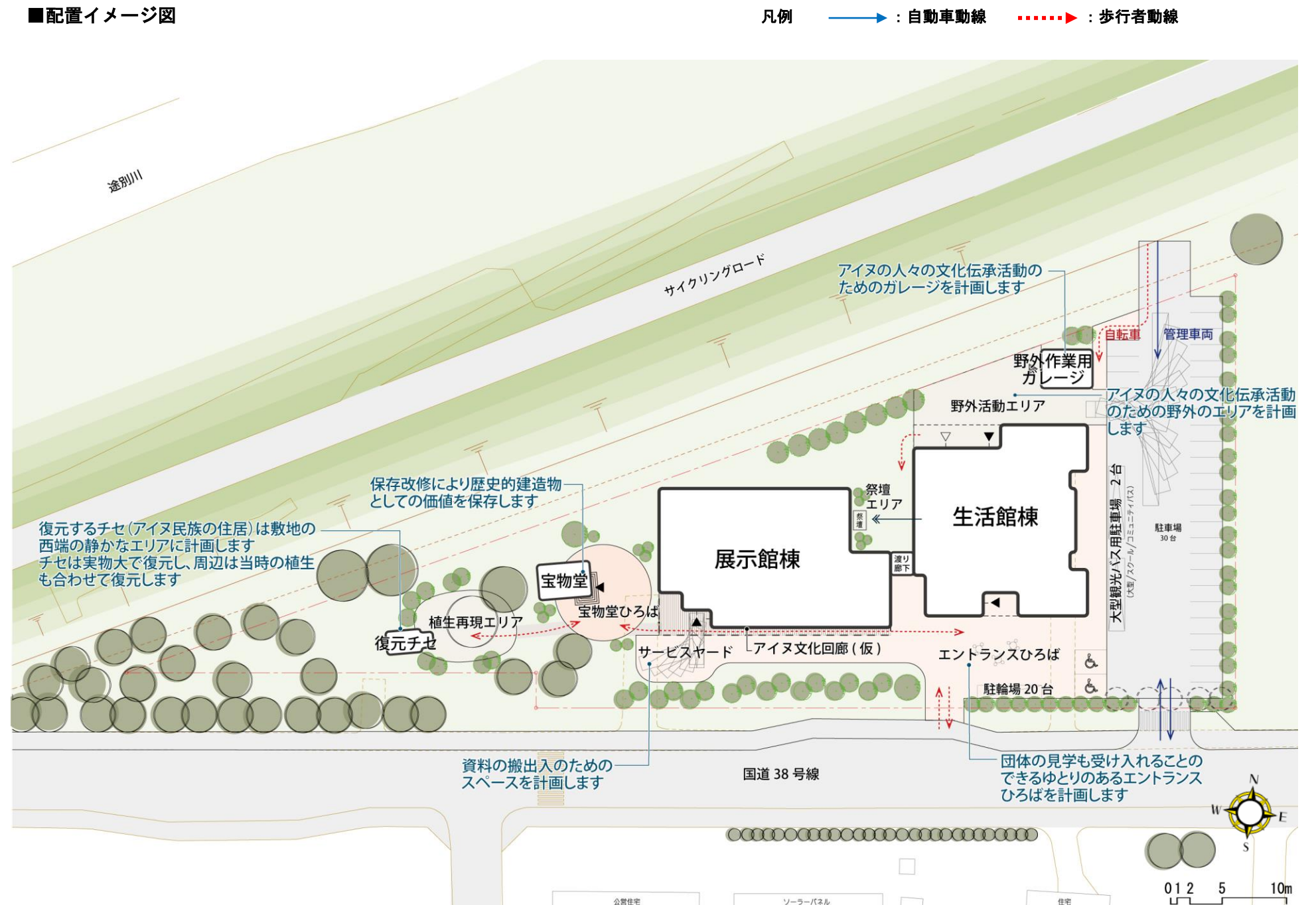
#### (4) 宝物堂ひろば・植生再現エリア

- ・宝物堂周辺に景観を眺めることができる広場を設けます。
- ・復元チセの周辺に当時の植栽を再現した植生再現エリアを設けます。

#### (5) サービスヤード

- ・敷地中央付近、建物西側に展示品や収蔵品を搬出入するためのサービスヤードを配置します。

### ■配置イメージ図



## 5 施設機能と規模に関する方針

### (1) 施設機能の構成

生活館棟と展示館棟は一体的な利用を図ることから、敷地東側駐車場から近い位置の生活館棟にエントランスを設け、渡り廊下を通り西側に展示館棟を配置します。

また、展示館棟西側から宝物堂や復元チセを眺望できるポイントを設けることで、内外が一体となった平面計画とします。

#### 【施設機能構成の方針】

- ①生活館棟には、伝承室、調理室、アイヌ研修室、研修室を配置します。
- ②展示館棟には、常設展示室、企画展示室のほか、一般の来館者の動線から外した場所に、保存環境に適した収蔵庫を配置します。

### (2) 施設機能の魅力ある空間構成

施設機能の計画にあたっては、単一の目的だけではなく、様々な活動を想定した利用しやすい空間構成とします。生活館棟は、明るい日差しを取り入れる高窓など、心地良い空間構成とし、展示館棟は、内装や空調設備など、展示品、収蔵品の管理に重点を置いた空間構成とします。

#### 【空間構成の方針】

- ①伝承室は生活館棟の象徴となる空間とし、アイヌ民族の伝統的儀式や来館者へのガイダンスを行う空間とします。また、可動型の間仕切りにより可変できる構造とします。
- ②常設展示室はジオラマや民具等の展示に対応した空間とし、企画展示室は各種の企画に柔軟に対応することができる空間とします。

### (3) 施設の規模

施設の規模は、諸室機能の必要面積検討や各団体の活動を想定した利用検討に基づき設定します。スペースの一体的な利用や各棟を空間的に連続させ、様々な活動が魅力的に展開できる施設規模とします。

#### 【施設規模の方針】

- ①建設する施設の規模(面積)は、生活館棟、展示館棟それぞれおおむね700㎡程度、合計1,400㎡程度とします。

### □平面計画の方針

#### (1) アイヌ文化の振興、地域住民の活動拠点：生活館棟

- ・囲炉裏を常設し、アイヌ民族の伝統的儀式が行われる場所として伝承室を配置します。また、スクリーンを有した情報発信や来館者へのガイダンスの役割を果たす空間とします。
- ・アイヌの伝統食材や食文化の普及・伝承と、地域の方々の利用や交流ができる調理室を配置します。
- ・アイヌ文化の振興や伝統に関する知識の普及啓発事業が行われるとともに、地域の方々の利用や交流ができる研修室を配置します。
- ・多機能型交流施設を管理する職員が執務を行う事務室を配置します。
- ・来館者が快適に滞在できるよう、開放的で広いエントランスホールや、授乳室、浴室、給湯室、多機能型含む男女トイレを配置します。また、備品、消耗品を適切に管理できるよう、倉庫、収納庫を設置します。

#### (2) アイヌ文化の伝承、情報発信の拠点：展示館棟

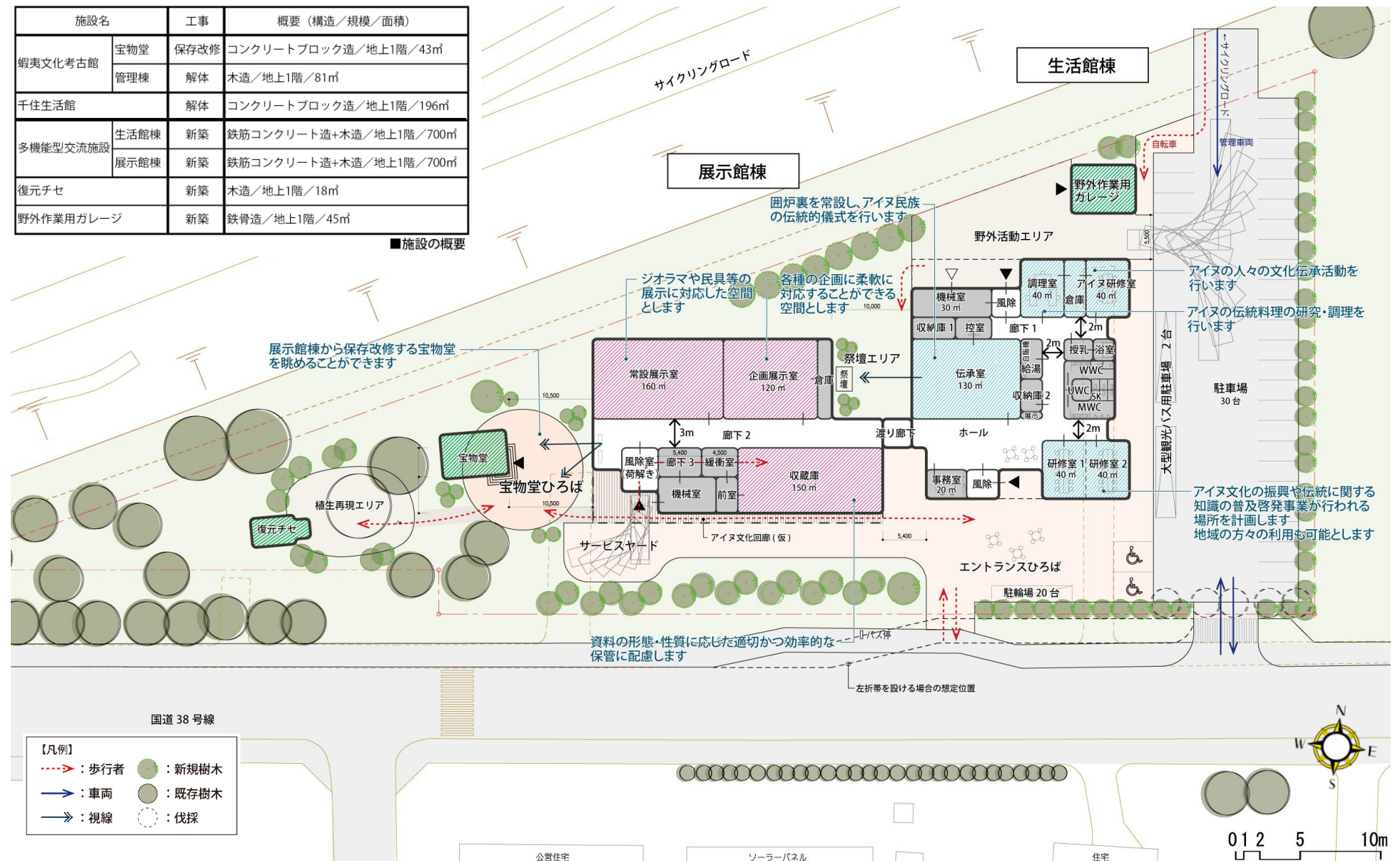
- ・ジオラマや民具等の展示に対応した空間として常設展示室を配置します。常設展示室の天井高は大型資料の展示を想定し、十分な高さを確保します。
- ・各種の企画に柔軟に対応することができる空間として企画展示室を配置します。
- ・両展示室はシンプルな平面形とし、様々な資料や展示方法に対応できるように、フレキシブル性を持った設えとします。
- ・資料の形態・性質に応じた適切かつ効率的な保管に配慮し、外部環境からの影響を最小限とした収蔵庫を配置します。
- ・収蔵庫には付帯室として緩衝室と前室を設けます。外部搬出入口から収蔵庫まで専用廊下を経てアクセスする配置とし、一般来館者との動線が重複しない計画とします。
- ・専用廊下や扉は十分な大きさを確保し、また、資料が天候から受ける影響を最小限にするため、搬出入口には屋根を設けます。

### ■平面イメージ図

※各諸室の数値は面積(㎡)です。

施設名	工事	概要(構造/規模/面積)
蝦夷文化考古館	宝物堂	保存改修 コンクリートブロック造/地上1階/43㎡
	管理棟	解体 木造/地上1階/81㎡
千住生活館	解体	コンクリートブロック造/地上1階/196㎡
多機能型交流施設	生活館棟	新築 鉄筋コンクリート造+木造/地上1階/700㎡
	展示館棟	新築 鉄筋コンクリート造+木造/地上1階/700㎡
復元チセ	新築	木造/地上1階/18㎡
野外作業用ガレージ	新築	鉄骨造/地上1階/45㎡

■施設の概要



## 6 環境配慮、ユニバーサルデザイン、防災、収蔵品等の保管等の方針

### (1) 環境配慮

環境に配慮した施設づくりを基本に、快適な施設環境とします。

#### 【環境配慮の方針】

- ①必要エネルギーを小さくする省エネ建築とします。
- ②太陽光などの自然エネルギーを活用します。
- ③維持管理が容易で効率的な設備計画とします。
- ④既存樹木の活用を図りながら、植生の再現エリアを配置する計画とします。

### (2) ユニバーサルデザイン

誰もが使いやすいユニバーサルデザインを基本に、細やかに配慮した心地良い施設環境とします。

#### 【ユニバーサルデザインの方針】

- ①内外に連続するバリアフリーの空間とします。
- ②車椅子利用者等に配慮した空間とします。
- ③多機能型トイレを配置します。
- ④敷地全体に盛土を行うことにより、高低差に配慮した施設計画とします。

### (3) 防災

地震に強い施設づくりを基本に、安全安心な施設とします。また、浸水に配慮した施設とします。

#### 【防災計画の方針】

- ①耐震性を有するRC造と木造のハイブリッド構造とします。
- ②洪水浸水対策を考慮した展示と収蔵品等の保管を検討します。
- ③非常用発電等の防災設備の設置について検討します。

### (4) 収蔵品等の保管等

収蔵品等の保管に配慮した施設づくりを基本に、貴重な収蔵品等を適切に保存できる施設とします。

#### 【収蔵品等の保管等の方針】

- ①保管に適した設備機器の検討を行います。
- ②収蔵庫の配置については、一般来館者との動線が重複しない計画とします。
- ③収蔵品等の搬出入に配慮した配置計画とします。

### □環境計画の方針

#### (1) 省エネに配慮した高窓

- ・必要に応じて高窓を配置することにより、自然光を積極的に取り入れ、昼間照明を最小限に抑えることで節電します。
- ・ホール、研修室、調理室、収蔵庫は天井高を抑え、空調負荷の小さい省エネルギーな施設づくりを検討します。

#### (2) 自然エネルギーの活用

- ・太陽光発電など自然エネルギーの活用について検討を行います。

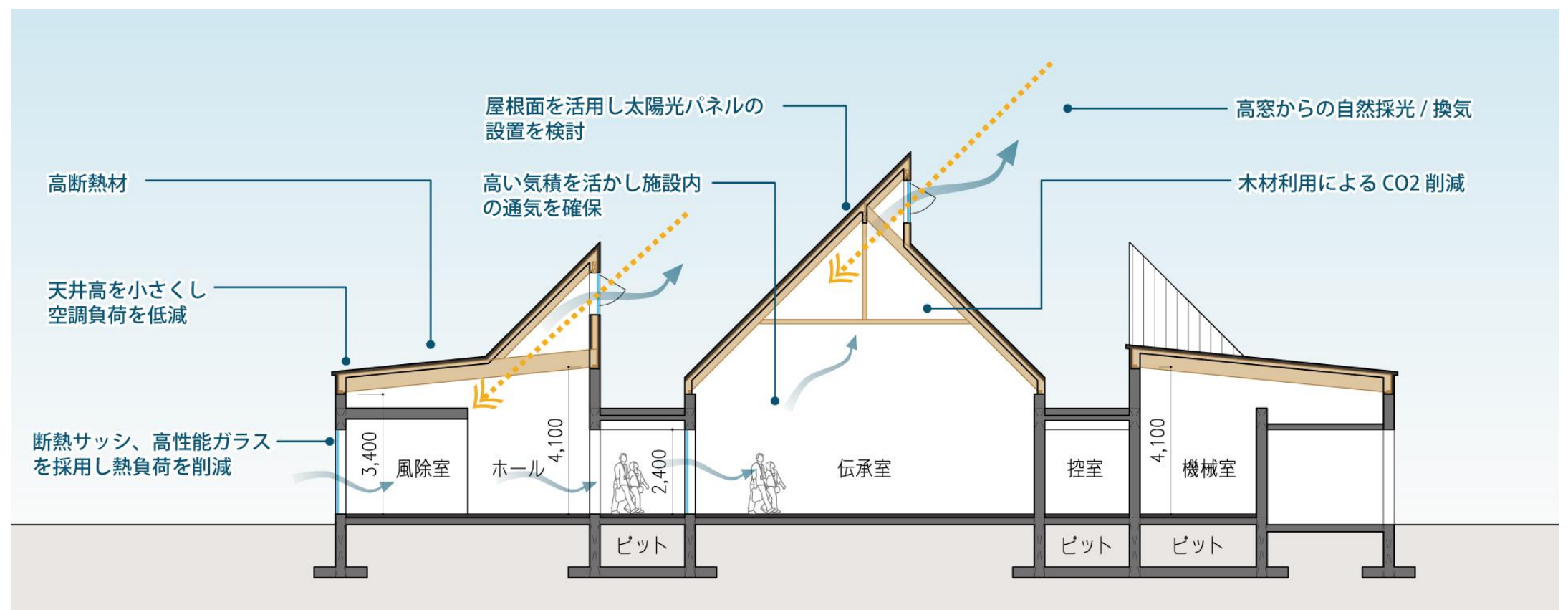
#### (3) 省エネルギー建築

- ・高断熱材、断熱サッシ、高性能ガラスを採用し、外気からの影響を小さくします。
- ・高効率の暖房機器の導入について検討します。

#### (4) CO2 排出抑制

- ・CO2削減に有効である木材利用を検討します。

### ■環境に配慮した省エネルギー計画イメージ図



生活館棟の断面イメージ

## 7 工事概要・概算工事費

現時点における概算工事費等は、次のとおり想定しています。

### □工事概要

項目	内容	
①建築工事（生活館棟）	構造／延床面積	RC造一部木造平屋建／約700㎡
②建築工事（展示館棟）	構造／延床面積	RC造一部木造平屋建／約700㎡
③外構工事	外構敷地面積	約4,100㎡
④解体工事（千住生活館（旧住宅））	構造／延床面積	CB造平屋建／195.76㎡ 木造平屋建／92.34㎡
⑤改修工事（蝦夷文化考古館）	構造／延床面積	CB造+木造／43㎡+81㎡

### □概算工事費（消費税相当額10%を含む）

項目	金額(百万円)	算出条件
①建築工事（生活館棟）	461	建築主体、電気設備、機械設備
②建築工事（展示館棟）	439	建築主体、電気設備、機械設備
③外構工事	180	駐車場、通路、植栽・緑地
④解体工事	16	千住生活館、旧住宅
⑤改修工事	41	蝦夷文化考古館（一部解体含む）
合計	1,137	消費税等相当額10%を含む

※ 工事費は現時点における概算であり、設備仕様・仕上材・労務賃金等の変動により増減する可能性があります。